

達成度：R5.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。  
 4 目標を概ね達成した。  
 3 目標を一部達成した。  
 2 目標をほとんど達成できなかった。  
 1 目標をまったく達成できなかった。

## 学校教育課の目標（令和4年度）自己評価書

学校教育課長 會田 悦久

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 学校運営への支援</p> <p>(1) 創意ある教育課程を推進し、学力の向上を図ります。</p> <p>(2) 学習指導等専門支援員、介助員等の配置により、個に応じたきめ細かな指導を推進します。</p> <p>(3) ICT 支援員を配置し、1人1台端末、デジタル教科書などの ICT 機器の活用を図り、教育的効果を高める授業改善を推進します。</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p>	<p>・各校の授業改善を進めることができました。</p> <p>・少人数指導により、きめ細かな指導を行い学力向上が進んでいます。</p> <p>・人的配置が充実し、個に応じた指導を進めることができました。</p> <p>・ICT 授業支援教員、ICT 技術支援員により、授業における ICT 利用が進み、授業改善に向かっていきます。</p>
<p>2 特色ある教育活動の推進</p> <p>(1) 人権・同和教育の推進に努めます。</p> <p>(2) 教育ファシリテーターを活用し、ふるさと学習（酒々井学）を推進し、地域に誇りと愛着を持つ児童生徒を育成します。</p> <p>(3) ALT、小学校英語専科教員の積極的活用により、英語力を高め国際社会で活躍できる児童生徒を育成します。</p> <p>※国際交流派遣事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度も中止、受入れ事業は延期としました。</p> <p>(4) 保育園・こども園と小学校のふれあい交流会、小学校と中学校間の学習や基</p>	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>・酒々井小学校で人権教育授業研究会を開催し、人権教育の在り方について研修を深めました。</p> <p>・教科と関連付けながら、ふるさと学習を推進することができました。こども模擬議会では、自分の町をよくしていこうとする提案型の質問が多くありました。</p> <p>・人的配置が充実し、英語力の向上が図られました。</p> <p>・国際交流事業は実施できませんでしたが、ドイツの交流校からビデオレターが届き、返信用ビデオレターを作成しました。</p> <p>・保小中連携推進協議会やその分科会等を通して、保小中</p>

<p>本的生活習慣の継続的な取組により、保小中が連携して一貫性のある指導を 実践します。</p> <p>(5)「豊かな心を育む CTS プラン事業」をとおして、各学校の特色ある教育活動を 支援します。</p> <p>3 教職員の資質や指導力の向上</p> <p>(1) 不祥事根絶に向けて、具体的な事例を基に研修を進め、教職員に高い倫理観 を維持させます。</p> <p>(2) 学校の求めに応じて教育アドバイザーを各校に派遣し、特に若年層教員の指 導力向上のためへの助言・指導を行います。</p> <p>(3)「教職員の特色ある教育研究支援事業」をとおして、教職員の自主的な教育研 究を支援します。</p> <p>4 教育条件の整備</p> <p>(1) スクールバスを運行し、酒々井小学校児童の交通手段を確保します。</p> <p>(2)「修学旅行への助成事業」により、保護者の経済的負担軽減を図ります。</p> <p>5 チャレンジ目標</p> <p>(1) 千葉県の人事評価制度の適切な運用がなされるよう各校に指導し、評価の信 頼性を高めるとともに、評価が人材育成につながるよう、意識化を図ります。</p> <p>(2) 小学6年生及び中学生の英語検定を積極的に支援し、主体的な学習による英 語力の向上に努めます。</p> <p>(3) 教員の働き方改革を推進し、児童生徒と向き合うことのできる時間の確保を 図ります。</p>	<p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>2</p>	<p>が連携した実践を計画し、実践してきました。</p> <p>・CTS プラン事業を通して、学校独自の特色ある教育活動 を推進することができました。</p> <p>・不祥事根絶研修及びモラルアップ委員会の計画的な実 施により、高い倫理観、意識の向上を図りました。</p> <p>・教育アドバイザーの派遣により、若年層教員の学習指導 及び生徒指導に関する助言・指導を実施し、指導力向上が 図られました。</p> <p>・3件の自主的な教育研究に対して支援を行い、研究成果 等について情報共有を図りました。</p> <p>・48名に対して、交通手段を確保することができました。</p> <p>・予定どおり修学旅行への助成を実施し、保護者の経済的 負担軽減を図りました。</p> <p>・適切に実施することができました。日常的な助言と記録 により、人材育成を図りました。</p> <p>・中学3年生の英検3級以上の取得率は49.0%（昨年 比+9.3%）となりました。今後は、6年生の英語学習 への関心を高め、英検受験を希望する児童を増やしてい きます。</p> <p>・働き方改革を推進しているものの、勤務時間が増えてい る状況が見られます。ICT活用などにより、様々な校務の 効率化を図ります。</p>
---	--	---